

情和園

創設理念：肉親を思うところをそのままに 永遠に捧げん情和の園に

ふれ愛・ささえ愛・たすけ愛

総合ケアセンター情和園

〒879-5406
由布市庄内町西長宝870-1
TEL 097-582-1010
FAX 097-582-3663
E-mail honbu@jyowaen.com



年賀
2016



謹賀新年

第4回大分県老人福祉施設協議会主催
“介護って素晴らしい”フォトコンテスト大分県社会福祉協議会会長賞 受賞作品

新年あけましておめでとうございます。ベストセラー「元気の源 五体の散歩」を昨年出版された外山滋比古先生が「忙しくすることの効用を説かれている。九十才で今なお健筆を振るわれ、規則正しい生活をかくしゃくとしておこなわれている先達のおこばには説得力がある。一体、いくつになっても健康で寿命を全うするには、栄養と運動と社会との関わりが必要である。よって、このうちの一つでも欠かされたくない。まずなんといつも食ありきであり、美を求め余りの最近のダイエット志向を懸念している。いのちの容れものである体とところに食を通じてしっかりと滋養を行き渡らせる。そのうえで、これらのエネルギーを蓄積するのはなく、ちからに代えて、運動で消費する。更に、「孤」をかこつてではなく、人と交わって、ムラ集団のなかで、自分の存在を確認する。

「忙こそ万歳」



社会福祉法人情和園 理事長 土師 壽三

新年あけましておめでとうございます。ベストセラー「元気の源 五体の散歩」を昨年出版された外山滋比古先生が「忙しくすることの効用を説かれている。九十才で今なお健筆を振るわれ、規則正しい生活をかくしゃくとしておこなわれている先達のおこばには説得力がある。一体、いくつになっても健康で寿命を全うするには、栄養と運動と社会との関わりが必要である。よって、このうちの一つでも欠かされたくない。まずなんといつも食ありきであり、美を求め余りの最近のダイエット志向を懸念している。いのちの容れものである体とところに食を通じてしっかりと滋養を行き渡らせる。そのうえで、これらのエネルギーを蓄積するのはなく、ちからに代えて、運動で消費する。更に、「孤」をかこつてではなく、人と交わって、ムラ集団のなかで、自分の存在を確認する。

目次

- 新年のご挨拶 1面
- 特集“介護男子” 2~3面
- ご利用者作品紹介 4面
- 虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会 4面
- ふれあい交流会 4面
- 青春塾 4面

そして、自分のみの善を図るのではなく、できれば、人のために良かれという言動を発信していく。こうなれば万歳である。要は、忙しいのである。心を亡失するほど、自らを忙しくするのである。そうすれば、心身を呆失する暇が無くなる。「忙」は、その語源が「こころを亡くす」とされ、避けるべきことというのが定説であるが、こうしてみると、案外、歓迎すべきものかも知れない。情和園は、入居施設からデイサービスなど全所で行ハビリティーションを最重要取り組み課題としているが、昨年末から新たに介護予防拠点「青春塾」を開設した。由布市健康立市宣言を実践すべく、栄養摂取、筋力強化、人との繋がりを強化した運営を行っている。是非、市民の皆様を活用していただいて、忙しく毎日をお過ごしください。本年が良き年でありますように。

ご利用者 作品紹介



細かい手作業も楽しく仕上げています

竹ひごを組んで作っています

今年の干支 個人作品

秋のふるさと祭に出品した空箱作品

和紙を貼り合わせた共同作品

虐待防止委員会

ご利用者の皆様自身の意思を尊重し、尊厳が守られる事は当然の権利です。私たち虐待防止委員会は、いかなる場合でも虐待を未然に防ぎ、ご利用者の権利を侵害することのないよう、日常の言葉づかいや接し方を意識するよう啓発活動に努めています。

身体拘束廃止委員会

身体拘束はご利用者の生活を制限するものであり尊厳ある生活を阻むもので、情和園の創設理念である「肉親を思うところをそのままに永遠に捧げん情和の園に」に反する行為であると言えます。ご利用者の生命を保護するために緊急やむを得ない場合を除き、行動を制限することなく介護の充実を図り、拘束しない介護を職員一同目指しています。

情和園では、**ご利用者の人権擁護**に取り組んでいます。

青春塾 活動中

平成27年11月より、旧情和園デイサービスセンターが生まれ変わり「青春塾」として元気に活動中です。介護予防を目的に体操を中心とした通所型サービスを展開しています。利用されている皆さんは青春真っ只中!



お問い合わせ 総合ケアセンター情和園 青春塾 Tel.097-582-1010

ふれあい交流会

由布市立大津留小学校の生徒さんが今年もまた手植えのお手を届けて下さいました。ありがとうございました。



感謝の気持ちをこめて、手をあわせてニッコリ

まごころのこもったあたたかい言葉を添えて...

明けましておめでとうございます。新年は「介護男子」の特集からスタートです。厨房で新年の食事を作る度、「今年もあつという間に過ぎるのだろうな、自分に実りのある年にしなければ!」と思っています。気持ちひとつで作るお料理の味も変わるものなので、充実した気持ちで調理の仕事に取り組めるよう頑張りたいと思います。良いお年を! 広報委員会 首藤久美子

編集後記